

# むらさきそう

西東京市立田無第一中学校  
校長 辻 康一

(住所) 西東京市南町6-9-37 (電話) 042-462-2811

カラー版はホームページで

URL <http://www.nishitokyo.ed.jp/j-tanashi/>

校長 辻 康一

この度、前任の坂元 竜二校長の後を受け、ひばりが丘中学校より着任しました辻 康一(つじ こういち)です。これまでの田無第一中学校の歴史と伝統を大切に引き継ぎ、より一層発展していけるよう、教職員みんなで力を合わせて精一杯努めて参ります。

私は、奈良県の斑鳩という地で生まれ育ちました。日本で最初の世界遺産に選ばれた法隆寺がある里です。法隆寺は今から1400年前に建てられた世界最古の木造建築ですが、使われている材木を修理のために削ってみると、今でもよい檜の香りがするそうです。その法隆寺は、私の家からも、通っていた学校からも、いつも空に向かってそびえ立つ五重の塔が見えましたし、小さなころは広い境内にドングリ拾いに行ったりもしました。

そんな私の友達のおじいさんに、法隆寺の大修理や薬師寺金堂再建の指揮をとった宮大工の棟梁、西岡常一さんという方がおられます。この方は、あまりの厳しさに「法隆寺の鬼」と呼ばれ、数々の歴史的な寺院の修理に力を尽くしてきた人で、本もたくさん書かれています。

その西岡さんの言葉に「塔組は木組なり。木組は木の癖組なり」という言葉があります。これは、代々法隆寺の宮大工の棟梁に伝わってきた教えだそうです。この言葉を西岡さんは、まだ子供だった私たちに次のように教えてくださいました。「何千年も持ちこたえる建物を造るには、それぞれの木がもっている癖、特徴を生かしながら、『適材適所』ということを考えなければならない。南側の斜面で育った真っ直ぐな木は南側に、北側の斜面で育った曲がった木は北側に、それぞれのもつ個性を生かして造ることで雨風や地震に耐え、何千年もそびえ立つ塔になるのだ」そうです。

それ以来、私の中にはずっとその言葉が心に残っています。また、このことは人とのつながりにおいて、どの社会でも言えることだと考えています。ですから、この田無一中の学級においても、それぞれの個性が活かされる学級、みんなが自分の居場所を感じられるような学級・学年・学校を作っていきたいと思います。そして、この田無一中が、天高く、どんな嵐にも揺るぎない塔になるように、生徒も教職員も、みんなで力を合わせて参ります。

どうか、よろしく願いいたします。